

## 受講の前に

実務者研修は、自宅学習・通学学習併用の講座です。

受講ガイド（本紙）には、自宅学習から修了までスムーズにご受講いただくために必要な内容が記載されておりますので、必ず全ての内容をお読みいただき、受講の準備をお願いいたします。

・お持ちの資格により、免除科目がございます。必要なテキストが異なりますのでご確認ください。

所持資格	テキスト	受講時間
介護職員基礎研修	第5巻「医療的ケア」(DVD付き)	50時間
ホームヘルパー1級	介護職員実務者研修テキスト1巻、2巻、3巻、4巻 第5巻「医療的ケア」(DVD付き)	95時間
ホームヘルパー2級	介護職員実務者研修テキスト1巻、2巻、3巻、4巻 第5巻「医療的ケア」(DVD付き)	320時間
初任者研修	介護職員実務者研修テキスト1巻、2巻、3巻、4巻 第5巻「医療的ケア」(DVD付き)	320時間
上記資格をお持ちでない方	介護職員実務者研修テキスト1巻、2巻、3巻、4巻 第5巻「医療的ケア」(DVD付き)	450時間

喀痰吸引（1号・2号）修了者の方は、自宅学習・通学学習共に医療的ケアが免除となります。

上表のご自身の所持資格欄をあわせてご確認ください。

【テキスト、通信課題の送付】\*お申込み完了後、教材を発送します。

\*万が一教材一式に不備や不足がございましたら、お手数ですが当校までご連絡くださいますようお願いいたします。

### ●履修の方法

・自宅学習（通信課程）と講義（通学）

●通信課題の開始 \*6月1日開校日はお越しいただく必要はございません。

### ●受講期限と修了予定日について

受講者研修の受講期間中は厚生労働省の規定により、下記の通り定められています。学習スケジュールとあわせて、ご自身の該当する方をご確認ください。

・免除資格をお持ちの方（ホームヘルパー1級・2級／初任者研修／基礎研修／喀痰吸引等研修1号2号所持者）

受講期間： 1か月以上

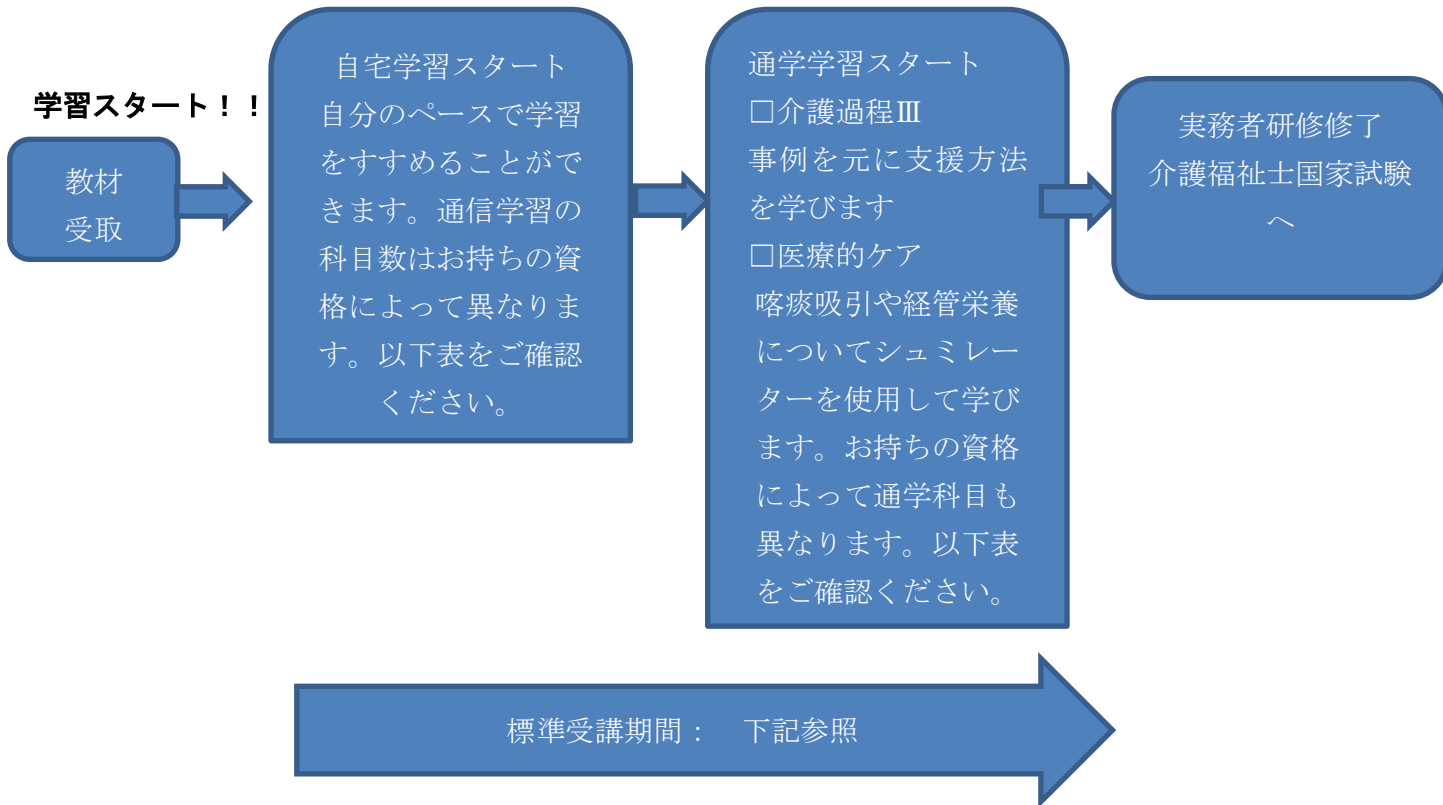
・免除資格をお持ちでない方

受講期間： 6か月以上

受講期間に満たない内に全てのカリキュラムを終えていても、修了証の発行までお待ちいただくこととなります。

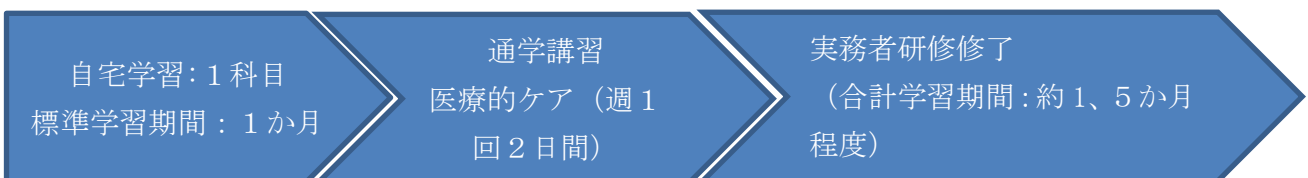
## 学習スケジュールについて

受講期限の修了予定日の通り受講期間が定められていますが、推奨学習スケジュールは次の通りです

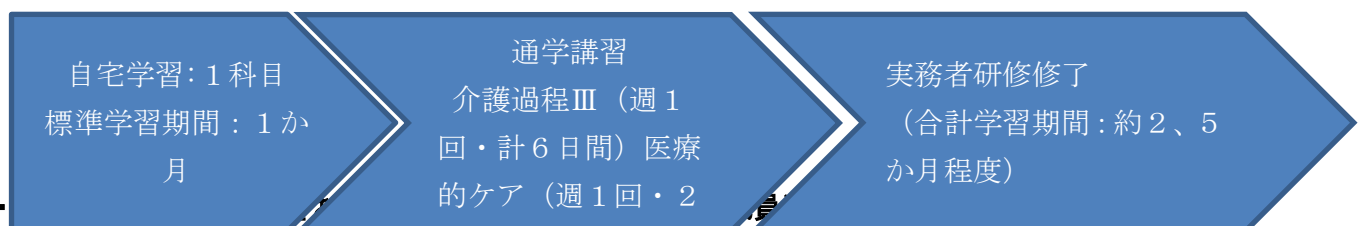


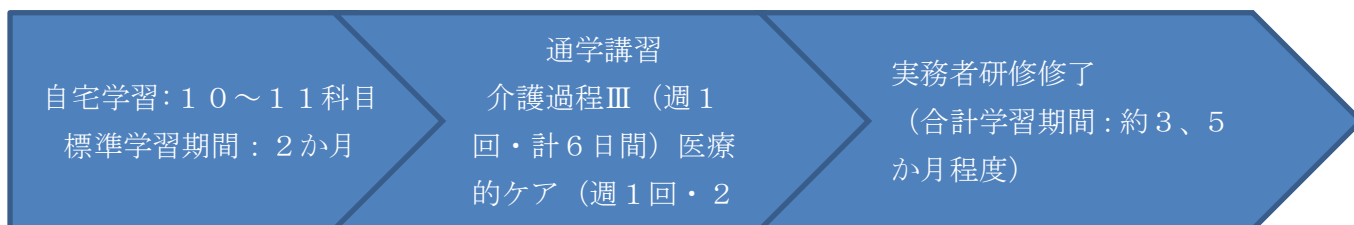
### ●所持資格別通信学習カリキュラム&標準学習期間

#### ・介護職員基礎研修をお持ちの方

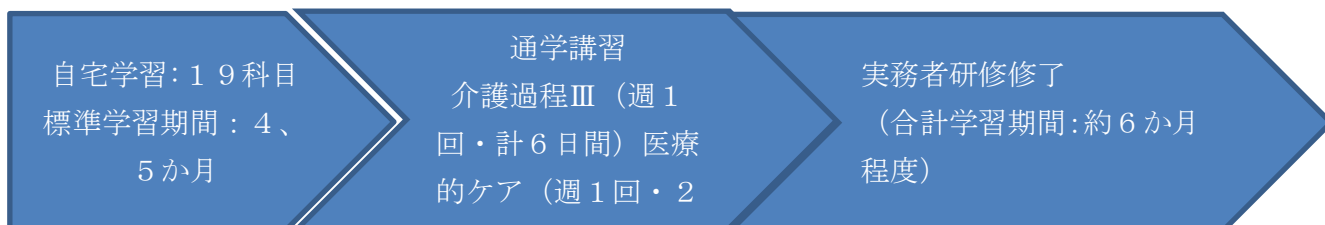


#### ・ホームヘルパー1級をお持ちの方





・ホームヘルパー3級をお持ちの方 ・お資格をお持ちでない方



※喀痰吸引等研修（1号・2号）を修了されている方

自宅学習 医療的ケア（標準学習期間1か月）と通学学習 医療的ケア（週1回・2日間）が免除となります。

### 災害時のご案内について

台風や大雪、地震などの災害時のやむを得ない事情により、研修の実施が困難と判断した場合には、研修の中止又は延期の措置をとることとなります。

万が一休講になる場合は、特別養護老人ホームふじの里ホームページにてご案内を掲載いたします。掲載がない場合は開講です。

アドレス <http://www.fujinosato.info>

### 自宅学習（通信課題）について

- ・ お持ちの資格により科目や提出数が違います。
  - ・ 通信課題は、テキストの理解を深める為に大切な自宅学習です。講義と同等の評価となりますので、提出期限直前に慌てることがないように日々計画性をもったのぞんでください。
  - ・ 自宅学習は70点以上で合格です。
  - ・ 自宅学習は通学講習開始までに全科目を修了してください。特定の科目を修了していれば通学講習にはご参加いただけますが（※下記参照）、通学講習は全科目を修了していることを前提として進みます。効果的な学習のためにも、全科目を修了されることをお勧めします。各課題の提出は、スケジュール表に基づいて、計画的にすすめてください。
- 尚、必須科目が未修了の場合は通学講習に参加できませんのでご注意ください。

※※ 通学講習前の合格が必須である科目 ※※

通学学習科目	通学前必須の自宅学習科目
介護過程Ⅲ	介護過程Ⅰ・Ⅱ
医療的ケア（通学）	医療的ケア（通信）

### 履修科目一覧

お持ちの資格により履修科目が異なります。表をご確認の上、自宅学習の解答をお願いいたします。

なお、お手持ちの資格とお届けした教材一式の内容に間違いがないか、必ずご確認くださいませようをお願い致します。

受講科目 保有資格	自宅学習																			通学学習		通学科目数合計		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21			
	人間の尊厳と自立	社会の理解Ⅰ	社会の理解Ⅱ	介護の基本Ⅰ	介護の基本Ⅱ	コミュニケーション技術	生活支援技術Ⅰ	生活支援技術Ⅱ	介護過程Ⅰ	介護過程Ⅱ	発達と老化の理解Ⅰ	発達と老化の理解Ⅱ	認知症の理解Ⅰ	認知症の理解Ⅱ	障害の理解Ⅰ	障害の理解Ⅱ	こころとからだのしくみⅠ	こころとからだのしくみⅡ	医療的ケア・通信	通信科目数合計	介護過程Ⅲ	医療的ケア・演習		
介護職員基礎研修																			●	1		●	1	
ホームヘルパー1級																			●	1	●	●	2	
ホームヘルパー2級			●			●				●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	11	●	●	2
初任者研修			●		●	●				●	●	●		●		●		●	●	●	10	●	●	2
上記以外の方	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19	●	●	2

喀痰吸引等研修（1号・2号）修了者の方は、自宅学習・通学学習共に医療的ケアが免除になります

- ・課題集と解答用紙集より、ご自身の履修科目のみご解答の上本校へのご提出をお願いいたします。履修科目以外の科目をご提出いただいた場合、採点及び解答解説をお送りすることができませんのでご注意ください。
- ・各科目70点以上で（医療的ケアは90点）合格となります。70点に満たない場合は新しい解答用紙及び提出用封筒をお送りしますので、再提出をお願いします。また、課題集及び解答用紙を紛失された場合は有料になりますのでご注意ください。

## 解答用紙の記入方法

- ・黒ボールペン、鉛筆等の黒色の筆記用具で記入してください。
- ・間違えた場合は2重線で訂正し、正解を記入してください。訂正印はいりません。
- ・修正液、修正ペン、修正テープは使わないでください。
- ・解答用紙は必ず原本を提出してください。
- ・氏名は手書きで、印鑑は使わないでください。

## 提出方法

- ・解答用紙にご解答の上、専用の封筒にてご郵送ください。  
採点結果の返送期間と採点料は以下の通りです。

結果返送	郵送料（結果返信用）
10日間程度	15円／1科目

\*切手の同封がない場合は採点できません。

- ・解答用紙に必要事項を記入してください。記入漏れや誤りがある場合は正しく採点されませんのでご注意ください。

記入項目：氏名

- ・課題提出用封筒（15円分の切手貼り付け、必要事項は全て記入のこと）に、解答用紙と採点料（15円／1科目）を入れてポストに投函してください。その際は切手が落ちないように、切手購入時の袋にいれるなどしてください
- ・1つの課題提出用封筒に複数科目を同封しての提出は可能です。その際の料金は、**郵送料（封筒貼り付け）15円切手＋（採点料15円切手×課題数）**となります。
- ・10日間程度で採点結果を返送します。

\*上記以外の同封物は、受けつけておりません

## 自宅学習の質問受付について

- ・自宅学習の内容に関するご質問は、下記メールにて受付けております

[lecturer@fujinosato.inf](mailto:lecturer@fujinosato.inf) （24時間受付）

- ・ご質問の回答には10日間程度で回答させていただきます。
- ・課題集末尾付属の自宅学習質問用紙でも承ります。質問事項をご記入の上、解答用紙提出用封筒にてお送りください。（質問用紙が足りない場合にはコピーしてお使いください）。回答には2週間程度かかります。

★ WEB学習システムの方（通信課題について）

＜学習方法＞

配布されたテキスト、受講者マニュアルに沿って自己学習し、本過程が定めるWEB学習のシステムに示された学習課題をクリアする

＜評価方法＞

各学習の評価は、70%以上を合格とし（医療的ケアは、90%以上）、70%未満の場合は、再度、修了評価課題に挑戦（課題はランダムに提示される）し、合格するまでは、その学習課題は修了とならない。

各課題の取り組みは、スケジュール表に基づいて、計画的にすすめてください。

＜自宅学習の質問について＞

eラーニング専用WEBページで受付し、担当講師が回答します。

## 通学学習について

### 通学学習受講の前に

- ・通学学習は該当する自宅学習の科目を修了していない場合参加できません。

※※ 通学講習前の合格が必須である科目 ※※

通学学習科目	通学前必須の自宅学習科目
介護過程Ⅲ	介護過程Ⅰ・Ⅱ
医療的ケア（通学）	医療的ケア（通信）

万が一採点結果が提出後 2 週間以上経過しても戻っていない場合にはお電話でご確認ください。

- ・通学学習は、介護用ベッドや車いすを使用して行います。そのため、お怪我等で実技を行うことが難しい場合はご受講を延期させていただく可能性があります。ご心配な点がある方は、事前にご連絡ください。

### 通学学習の内容

	無資格者・ヘルパー 3 級（450 時間） 介護職員初任者研修・ヘルパー 2 級（320 時間） ヘルパー 1 級（95 時間）	介護職員基礎研修（50 時間）
介護過程 Ⅲ	2～4 日目⇒座学	
	1・5 日目⇒演習	
	6 日目⇒演習修了評価	
医療的ケ ア（演 習） 2 日間	実技演習・評価 ＊喀痰吸引：口腔内・鼻腔内・気管カニューレ ＊経管栄養：胃ろう腸ろう・経鼻経管 ＊救急蘇生法（評価なし）	

### 通学日の流れ

#### ●授業開始時間前

- ・開場は講義開始 15 分前です。
- ・5 分前には着席し、余裕をもって受講の準備をお願いします。（5 分前厳守）
- ・名札をつけてください。（受付に準備しています）

・講師が出欠の点呼を取りますので、応答してください。

●授業開始

・日直当番の方は、授業開始時号令（起立・礼・着席）をお願いします。

●昼休憩（45分間）

・お弁当などをご持参の方は教室内で飲食していただいて結構です。

（外食される方は午後の講義に遅れないようお戻りください。）

・昼食等によるゴミはご自身で持ち帰って下さい。

・机、ベッド等の移動のお手伝いをお願いすることがあります。

・日直当番の方は、教室の清掃をお願いします。

## 演習時の持ち物・服装について

### お持ち物について

通学学習のお持ち物は以下の通りです。お忘れ物のないよう、ご準備をお願いいたします。

#### 介護過程Ⅲ

	お持ち物
1日目	筆記用具 受講ガイド（本紙） テキスト第2巻
2日目	筆記用具 テキスト第3巻
3日目	筆記用具 テキスト第3巻
4日目	筆記用具 テキスト第3巻
5日目	筆記用具 テキスト第3巻
6日目	筆記用具 テキスト第3巻

#### 医療的ケア

	お持ち物
7日目	筆記用具
8日目	テキスト第5巻 医療的ケア エプロン

### 服装について

・座学科目： 着なれた服装で結構です。

・演習科目： 介護実技を学びますので、動きやすい服装、身だしなみでお越してください。

・ジーパン、短パン、スカート、キャミソール、露出の多い服、サンダル、クロックス、ハイヒール、ネイルアート、つけ爪等のご遠慮ください。

### 出席と振替えについて

・原則、全日程出席をお願いいたします。



- ・出席簿に印鑑をお願いいたします。
- ・通学講習中は担当講師の指示に従ってください。
- ・授業開始から30分以上遅れた場合、・早退をされた場合は出席を認められません。
- ・やむを得ない理由により欠席、遅刻、早退する場合には必ず事務局まで連絡してください。
- ・補講に関しては、個別に調整をさせていただきます。

## 教室内でのご注意

- ・携帯電話の電源はお切りになるかマナーモードにしてください。
- ・授業中は講師の指示に従ってご受講ください。他の受講生のご迷惑になるような行為等があった場合は、ご退席いただく場合がありますので予めご了承ください。
- ・医療的ケアの講義ではシュミレーターを使用して授業を行います。精密機器となりますので講師の指導に従い、丁寧に扱ってください。
- ・貴重品の管理はご自身で行っていただき、当校での責任は負いかねます。

## 医療的ケアについて

- ・演習には評価があり、規定回数が定められています。グループの人数等により、終了時刻が変動する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・髪の毛の長い方は必ず髪留め、ヘアゴムで髪をまとめてください。
- ・細かな演習備品の取り扱いがあるため、爪は短く切っておいてください。
- ・演習時に使用しますので、秒針のついた腕時計をご持参ください。

### 【事前学習のご案内について】

当日の演習をスムーズにご理解いただくため、事前学習の上授業にお越しください。

- ・テキスト第5巻付録のDVDをご覧になり、具体的なイメージをもったり、物品名称を暗記する等、演習がより効果的となるよう事前の学習をお願いします。

## その他

<住所・氏名・電話番号等の変更について>

- ・受講申し込み以降、変更があれば速やかに事務局までご連絡ください。

## 修了評価について

- ・介護過程Ⅲの科目で修了認定がございます。修了認定の結果によっては再受講していただく場合もございます。
- ・受講中の平常点も修了認定の評価項目となります。

【介護過程Ⅲ】5日間を通して、介護過程の理解度により判定を行います。

【医療的ケア】各項目（口腔・鼻腔・気管カニューレ・胃ろう腸ろう・経鼻経管栄養）の手順を5回ずつ実施し、各項目の最終5回目ですべての手順を間違いなく行えることを合格基準としています。

## 修了証明書の発行について

### 修了証明書発行手続きについて

- ・ 修了証明書発行手続きとは本研修の卒業証書にあたります。研修の全過程を履修し、同時に一定の評価基準に達し、実務者研修を修了したことを証明する書類です。
- ・ 修了証明書は、介護福祉士国家試験を受験する際に必ず必要となります。お手元に届きましたら、国家試験の願書提出まで大切に保管してください
- ・ 修了証明書はご本人の申請に基づいて発行いたします。
- ・ 通信添削課題を提出の際に「実務者研修修了証明書申請書」を提出ください。

### 「実務者研修修了証明書申請書」

生年月日	和暦	年	月	日
フリガナ				
氏名				
住所	〒 —			

#### ▼注意事項

修了証明書に印字される内容になりますので、全ての項目をお間違えの無いようご記入ください。

## 介護福祉士国家試験を受験される方へ

・実務者研修は、介護福祉士国家試験の受験要件となります。実務者研修修了者は実技試験が免除されるため、介護福祉士国家試験は筆記試験のみとなります。

・介護福祉士国家試験を受験される場合は、受験年度の12月末までに実務者研修を修了していることが条件です。

・介護福祉士国家試験の願書を提出される際に『公益社団法人 社会福祉振興・試験センター』へ修了証明書の原本提出が必要となります。修了証明書は介護福祉士国家試験の受験申込書を提出するまで大切に保管してください。詳しくは願書に付属している受験の手引きをご覧ください。

・修了見込み証明書は、12月末までに修了見込みのある方へ8月上旬にご送付いたします。

介護福祉士国家試験の願書提出は、例年9月上旬（\*変更の可能性がございます。必ずご自身でご確認ください。）となっております。8月にお届けいたします『修了見込み証明書』を願書とともに試験センターでお送りください。後日実務者研修を修了し、原本がお手元に届きましたら、修了証原本を試験センターへお送りください。

上記内容は変更となる場合がございます。尚、当校では介護福祉士国家試験の受験手続きはできません。必ずご自身で願書を取り寄せ、受験手続きを行ってください。

介護福祉士国家試験に関する確認・お問い合わせは、『公益社団法人 社会福祉振興・試験センター』公式ホームページをご確認ください。

『公益社団法人 社会福祉振興・試験センター』<http://www.sssc.or.jp/kaigo/>

## 修了証明書の再発行について

介護福祉士国家試験実技試験を免除される際に修了証明書の原本提出が必要なため、その他の用途でお使いになる場合にはコピーをご使用ください。

## 実務者研修修了後のたん吸引等業務への従事及び実地研修について

今後、介護現場でたんの吸引等の特定医療行為を実施する場合は、実務者研修の修了に加えて、喀痰吸引等研修の登録研修機関にて実地研修を受講する必要があります。管轄する都道府県や登録研修機関によっては、実地研修のみの受講で修了することができない場合がございます。丹野吸引等の特定医療行為の業務をお考えの方は、都道府県または喀痰吸引等研修の登録研修機関へご確認頂きますようお願いいたします。